

3月の産地情報

輪菊	白菊	愛知、静岡、沖縄、外国中心。彼岸の需要に合わせた13日・16日販売がピークとなる見込みで、下旬は昨年とは違い少ない出荷が予想される。また、昨年は生育の遅れが見られたが、本年は概ね順調な生育状況となっている。上位等級の太めの物の割合が多い見込み。
	黄・赤菊	沖縄、静岡、愛知、外国中心で、白菊と同様の生育状況となっている。沖縄産は上旬が中心、静岡産は上旬・中旬がピークとなる。また、黄菊も下旬は昨年とは違い、少ない出荷が予想される。
小菊		沖縄主体で上旬から中旬がピークとなり、13日販売分が最大のピークと見込まれる。輪菊同様、沖縄産は下旬の出荷量が昨年とは違い大幅に減少してくる見込み。
SP・ディスプレイバッド		<ul style="list-style-type: none"> ・SPマム: 愛知中心で、彼岸の需要に向け13日頃より出荷量がピークとなる。 ・ディスプレイバッドマム: 年末の返しの作付けが切れ始まり、徐々に数量は増加していく。
バラ		西南暖地中心で、高冷地はかなり少なめ。下位等級が少なく、上位等級が中心の出荷。国内生産者減の為、全体量は昨年より少なめの見込み。
カーネーション		千葉、静岡、香川、長崎中心で、気温の上昇と共に国産は出荷増となる見込み。輸入のコロンビア産は昨年と比べるとやや減少の見込み。
ガーベラ		静岡中心。数量は例年並みだが中旬頃から注文が多くなり、色目によって品薄感あり。
かすみ草		和歌山、熊本中心。現時点では順調だが、出荷量は微減から横ばいの見込み。和歌山はスポット注文あり。
リシアンサス		沖縄、高知、関東中心。上旬にまとまり、後半はやや落ち着いた出荷となる見込み。
ユリ	オリエンタル	高知、千葉、埼玉中心。1、2月と出荷が少なく3月に期待したいが、作付け自体が減少している為少ない見通し。産地の求める価格も高めで設定されている。
	スカシ・鉄砲	彼岸前の作付けは計画あり。近々の温度にもよるが、現時点では順調な見通し。
洋ラン類		<ul style="list-style-type: none"> ・オンシジューム: 国産、輸入共に前半は少なめだが、後半は増える見込み。 ・カトレア: 生育が遅れていた産地が、少しずつ咲き始める為増えてくる。 ・シンビジューム: 国産メインで潤沢。・デンファレ: 国産は少なめだが、輸入は潤沢。 ・ファレノプシス: 国産はミディ中心。輸入は大輪V3中心で潤沢。
季節もの		<ul style="list-style-type: none"> ・ストック: 上旬は順調な出荷となる。 ・チューリップ: 数量は昨年よりもやや減少となるが、ほぼ例年並みの見込み。今後の天候次第で出荷のタイミングが大きく変わってくる。